

国立研究開発法人森林研究・整備機構施設整備費補助金（継続）

【平成31年度予算概算決定額 223,036（218,981）千円】

<対策のポイント>

森林・林業に係る試験・研究や林木の優良な種苗の生産・配布等に必要な施設の改善等を行うことにより、これらの業務の円滑な実施を図ります。

<政策目標>

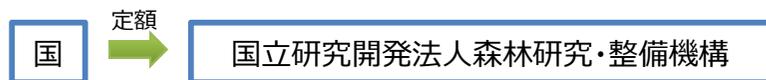
- 森林及び林業に関する総合的な試験・研究及び林木育種事業を着実に推進します。
- 国立研究開発法人森林研究・整備機構中長期目標を達成します。

<事業の内容>

- 森林研究・整備機構の業務の適切かつ効率的な実施及び職員の安全・安心の確保のため、**業務実施上の必要性、既存施設の老朽化等を勘案し、業務運営に必要な次の施設の整備**を行います。

- ・北海道支所暖房設備改修
- ・四国支所構内電気設備他改修
- ・林木育種センター東北育種場F2世代開発推進交雑温室整備
- ・林木育種センター東北育種場奥羽増殖保存園種穂増殖温室改修
- ・林木育種センター関西育種場F2世代開発推進交雑温室改修
- ・林木育種センター九州育種場F2世代開発推進交雑兼種穂増殖温室改修

<事業の流れ>



<事業イメージ>



○北海道支所暖房設備

寒冷地である北海道にある支所の暖房設備であるが、築44年が経過し、老朽化が著しいため、熱交換器の入れ替え、必要な配管の整備等を実施します。



○奥羽増殖保存園種穂増殖温室

採種園等の造成に用いる特定母樹等の原種を増殖する施設であるが、築57年が経過し、鉄骨の腐朽やガラスの破損など老朽化が著しいため、内外装工事、灌水装置の整備等を実施します。